

各パートの紹介 I 《基礎知識習得（導入）》

開講式

概要：

- 1) 研究者から自己紹介と学習目標についての発表
- 2) オリエンテーションでは1年間のプロジェクトについての概要説明
京都大学「民間等共同研究員」の称号付与

場所：京都大学にて開催



座学（PART1）



概要：

京都大学教授陣によるマーケティング、財務会計、事業創造など、以降のビジネス研修を実施する上で基礎となる知識・手法・情報に関する講義

期間：4日間 各日10:00-16:30（1.5時間×3コマ）

形式：対面講義（日本語）

場所：京都大学

ビジネスプラン集中講義・中間発表（PART2）

概要：

ビジネスモデル作成についての講義；ビジネスモデル（BM）の構成要素、5C分析、顧客セグメント（CS）、価値提案（VP）、ビジネスモデルキャンバスを用いた分析

その後、示されたケース事例をもとに各研究員がビジネスモデルを構築/発表

中間発表では、各研究員が作成したビジネスプランの発表・実務家教員からフィードバック

期間：ビジネスプラン集中講義/11日間 各日10:00-16:30（1.5時間×3コマ）

中間発表/9月

形式：対面講義（日本語・英語）

場所：京都大学

英語力強化研修（PART6）/ビジネス英語リスニング研修（PART3・5）

英語力強化研修

概要：

WHO 等国際機関に対する英語研修で知られている、フィリピン、アテネオ大学に渡航して集中的にビジネス英語研修を実施

ABL 独自に開発された専門的かつ体系的プログラムで構成され、プレゼンテーションやネゴシエーション、ディスカッション、ビジネスライティングを中心に、総合的かつ正しいビジネス英語能力を身に付けることを目的とする研修

期間：6 週間

場所：フィリピン・アテネオ大学において対面講義



ビジネス英語リスニング研修

概要：

ビジネス英語におけるリスニング力を徹底的に向上させる ABL 独自のビジネス基礎英語研修。日本人講師が、英語で実施される講義等の内容について、シャドーイング/ディクテーション/文法推測/Overlapping などの手法を用いて、聞き取り理解する力を身につけることを目的としている。

期間：4 月～6 月

形式：オンライン または 対面講義（英語）

場所：京都大学

海外連携大学による講義（PART4-1）



概要：

海外連携大学の講師陣（9 か国）からの実践的なりレー講義を通して、各国の現状ビジネスノウハウを習得

【このパートで取り扱う 4 つのテーマ】

- ◆ 各国の情勢、政治・ビジネス動向
- ◆ リーダーシップ・ヒューマンリソースマネジメント
- ◆ CSR
- ◆ パブリックリレーションズ・マーケティング

研究員が学び・意見等をプレゼン

講師からの講評、質疑応答

期間：5 月～8 月

形式：オンライン または 対面講義（英語）

場所：京都大学

* 【資料 1】講師紹介

テーマ別アジアビジネス講義（PART4-2）

概要：

5つのテーマについて、アジア各国でのビジネス展開の講義を各専門家より受講。
 研究員がビジネスプランを構築するための知識・手法を実践的に学ぶことを目的とする。
 またそれぞれのテーマごとに議論・演習を行い、ネットワークを形成することも狙いである。

【テーマ】

- PPP
- Cold Chain Logistics
- Digital Society (Smart City)
- Energy
- Doing Halal Business

期間：4月～8月

形式：オンライン または 対面講義（英語）

場所：京都大学

	○月○日（月）	○月○日（火）	○月○日（水）	○月○日（木）	○月○日（金）
10:00 - 11:30	【導入】カリキュラム概要と進め方 【講義①】		【講義④】	講義 B	課題取り組み
13:00 - 14:30	【講義②】	講義 A 基本事項を レクチャー	【講義⑤】	講義 A を受けて アジア展開のための 事業案・戦略案を レクチャー	研究員自身の ビジネスプランを 作成する
15:00 - 16:30	【講義③】		【講義⑥】		
					発表 & 講評

各パートの紹介 II 《Internship（実践）》

Internship

概要：

ABL プロジェクトの「大学/企業ネットワーク」の全面的な共同により、

- 1) 現地に渡航し、現地ローカル企業において実施する「オンサイト・インターンシップ」
- 2) オンライン会議技術を駆使した「国際ビジネスサイバーラボ」

を並行実施し、参加研究員、参加企業の個別ニーズにカスタム化したインターンシップを実施。

ABL インターンシップは、海外でのビジネス活動を行うためのスキルアップ、人的ネットワーク構築、ビジネスプランの構築を目的とする。

また現地受入企業の事業に研究員として参画し、現地の慣習を学ぶとともに、受入企業の課題解決に共同で取り組むなど、受け入れ企業に貢献するように努める。

オンサイト・インターンシップによる現地実体験により得られる効果を最大限に発揮しつつ、同時に、国際ビジネスサイバーラボを推進し、研究員それぞれが個別 ABL ネットワークを形成する。



期間：10月～3月

場所：研究員が希望する ABL 関係各国

(タイ・マレーシア・ベトナム・インドネシア・フィリピン・ラオス・カンボジア・インド)

* 【資料2】 インターンシップ 現地受入企業一覧

* 【資料3】 ABL 卒業生の体験談

各パートの紹介Ⅲ 《最終報告会（総括）》

Final Wrap Up



概要：

インターンシップ期間を通じて、渡航国に対する異文化理解を踏まえたうえで、各国の人材マネジメント、パブリックコミュニケーション、CSR等に関して比較討論の発表会を実施
一人20分の発表・20分の質疑応答

期間：3月（2日間）

開催形式：対面（英語）（一部オンラインも検討）

場所：京都大学

ABLプロジェクト所定の要件を満たしたのものには、修了書及び履修証明書を授与